

# Tokyo File 東京ファイル

## 音楽

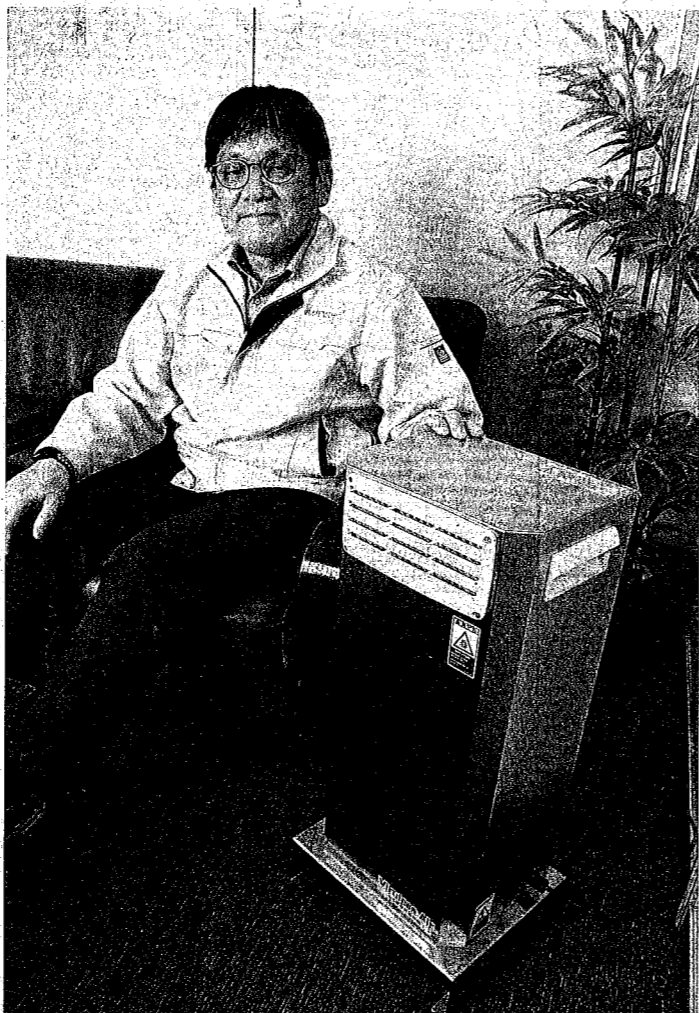
◆**音楽舎**「子どものための雅楽コンサート 雅楽ってなあに？」 17日午前11時、午後1時半、4時、信濃町駅・千日谷会堂。楽器を紹介するほか、名曲「越天楽」、子どものために作られた「星のテンテン」(山根明季子作曲)などを上演。大人も楽しめる内容で、休憩時間には舞と打楽器の体験コーナーが設けられる。各回50人。1000円、中学生以下500円。要申し込み。東京コンサーツ03・3200・9755。

◆**栗原正和ピアノ・リサイタル** 22日午後1時半、代々木公園駅・ハクジュホール。ショパン「バラード第3番」、リスト「森のざわめき」などを弾く。ソプラノの柴山晴美、フルートの吉岡次郎を迎えての演奏や、音楽評論家・奥田佳道とのトークイベントも。3500円。要申し込み。未就学児不可。「MK Pro」055・227・7683。

◆**オペラ・ガラコンサート** : Again 8月29日午後3時、蒲田駅・「大田区民ホール・アプリコ」。柴田真郁指揮の東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団と澤畑恵美(ソプラノ)、望月哲也(テノール)らプロの歌手、公募で集まった区民合唱メンバーが、オペラの名曲を披露する。ピゼー「カルメン」から「ハバネラ」、ヨハン・シュトラウス2世「こうもり」など。4000円。未就学児不可。チケットセンター03・3750・1555。

駅名は主な最寄り駅。価格表記は税込み。催しなどが中止となることがあります。詳しくは主催者にお問い合わせください。

「安心して過ごせる空間を提供できれば」と、ウィルレスエアをPRする渡辺社長(相模原市南区のMEMOテクノス)



# 音制御技術 清浄機に



## 開発4か月で販売

「静かでしょう。図書館内と同じレベルです」  
システム開発会社「MEMOテクノス」(相模原市南区)の応接室。社長の渡辺将文(47)の視線の先にあるのは、自社製の空気清浄機「ウィルレスエア」。新型コロナウイルスが感染拡大する中、昨年9月に売り出した自信作だ。

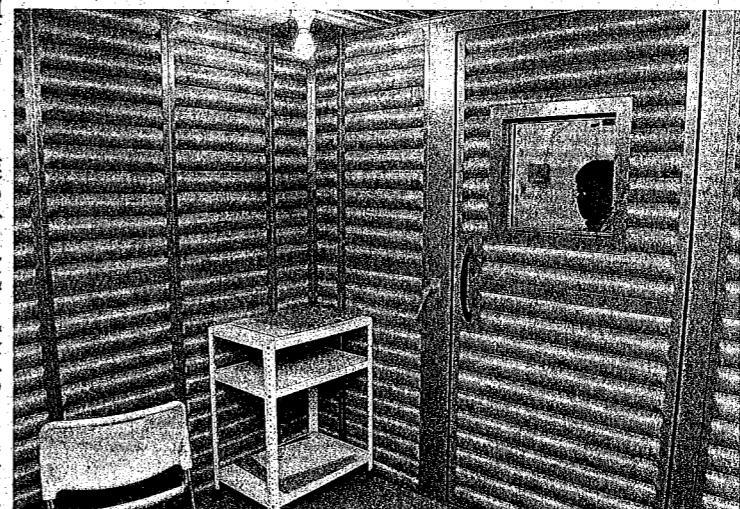
本体はカラーボックスほどの大きさ。下部にあるファンで空気を取り込み、内部のランプが照射する紫外線でウイルスや雑菌のDNAを傷つけて無害化する。県立産業技術総合研究所の試験では、16畳の部屋の空気を1時間で清浄化できた。

しかし、空気をきれいにするだけでは他社の清浄機と差別化できない。渡辺は、ライバル社の商品が出す40センチ以上の作動音に着目。ささやき声程度の大きさだが、「生活する中で不愉快であってはならない」

### MEMOテクノス(相模原市南区)

渡辺社長が2006年に設立。省人化のための特注機器を設計、製造する会社で、従業員は12人。資本金500万円。2020年8月期の売上

高は1億500万円。社名は、渡辺社長が前職の電子機器メーカー勤務時代に飼っていたウサギの名前「MEMO」から取った。



機械の作動音を調べるため、外の音を聞えなくした無響室(相模原市南区のMEMOテクノス)

と、音の小ささで勝負することにした。

音が出るのは空気が振動するから。ウィルレスエアは空気の通り道を太くしてゆっくり流すことで振動を抑え、作動音を30

デシベルに抑えた。口コミで評判が広がり、飲食店やオフィスなどに100台以上を販売した。

MEMOテクノスは元々、企

業の省人化に役立つシステムの開発を得意としてきた。特に注目されたのが、鉄道駅の構内アナウンスや発車ベルを自動化する業務用放送システムだ。

厚生労働省は、飲食店に十分な換気を求めている。換気機能付き冷暖房設備がない場合は窓を開けなければならぬが、夏を迎え熱中症が心配されるようなケースでは、窓からの換気と可搬式清浄機の併用も認められている。

(敬称略)  
(中谷和義)

## 「巣ごもり」売り上げ増

空気清浄機の売り上げは、全国で伸びている。コロナ禍に伴う「巣ごもり生活」の定着や、清潔意識の高まりが背景にある。

家電メーカーなどで作る一般社団法人「日本電機工業会」の統計では、2020年度の出荷台数は前年度比77%増の358万台。出荷額は前年度の約2倍の1094億円と、初めて1000億円を超えた。今年度も好

調は続き、4月は22万台と前年度比33%増。13か月連続のプラスとなった。

家電売り場では、リビングで使うような風量の大きなタイプが人気だという。家電販売大手のエディオン(本社・大阪市)は、「外出を控えて家にいる時間が長くなり、においなども含めて空気が気になる人が増えた」とみている。